

神社の参拝作法

神社に参拝するとき、どのようにすればいいでしょうか。
キキタビをもっと楽しくするために、一般的な参拝作法をご紹介します。
大事なのは、心を込めてお参りすることです。



神様が通る真ん中を避けて、少し左右どちらかに寄って歩きましょう。

2 参道は真ん中を避ける



鳥居より内側は神域です。一礼してから鳥居をくぐります。また、参拝を終えた後も、社殿に向き直って一礼するのがいいでしょう。

1 鳥居をくぐる前に一礼



お賽銭箱の上にある鈴などの音には、参拝者をはらい清めるという意味があります。まず鈴を鳴らし、その後、お賽銭を心を込めて、ていねいに入れます。

次に基本となる二拝二拍手一拝*で拝礼します。

1: 姿勢を正し、腰を90度に折り、深いおじぎを2回行います。



2: 胸の高さで、右指先を少し下にずらすように両手を合わせます。

3: 肩幅程度に両手を開き、2回拍手を打ちます。



4: 指先を揃え心を込めて祈り、最後に深いおじぎを1回行います。



*神社によって異なる場合があります。

4 お参りは「二拝二拍手一拝」

神社には手水舎(てみずや)があります。手水舎は水でみそぎをして、心身を清めるところです。



1: 右手でひしゃくを持ち、水を汲んで、左手にかけ清めます。

2: 左手にひしゃくを持ち替え、右手も同じように清めます。



3: 右手にひしゃくを持ち替え、左手のひらに水を受けて溜め、口をすぎます。その際、ひしゃくに直接口を付けないよう注意します。水を再び左手に流します。



4: ひしゃくを立てて、残った水をひしゃくの柄に流します。

5: もとあった場所に伏せて戻します。



3 手水舎では手、口を清める

Q. 御朱印のいただき方

- 1 御朱印帳を準備しましょう。 ※授与所(社務所)などで御朱印帳を購入できる神社もあります。
 - 2 御朱印は参拝した証明です。原則、参拝した後にいただくようにしましょう。
 - 3 授与所(社務所)に行き、書いてほしいページを開いた状態で御朱印帳をお渡ししましょう。
 - 4 御朱印を書いていただいている間は、静かに待ちましょう。
 - 5 両手で受け取ってお礼を伝えましょう。お釣りがないようにして初穂料を納めましょう。
- ※受付時間は神社により異なります。 ※時間内でも書き手不在などで授与できない場合もあります。

